

平成 16 年度「特色ある大学教育支援プログラム」

採択取組の概要および採択理由

大学・短期大学名	大阪産業大学	整理番号	1-5-007
応募テーマ	主として大学と地域・社会との連携の工夫改善に関するテーマ		
取組名称	大学と地域で築く 21 世紀型ひとづくり共・育 東大阪中小企業ものづくりネットワークと連携した アントレプレナー型エンジニア育成		
申請単位	学部単位		
申請担当者	松本 裕		
<p>(取組の概要)</p> <p>大学と地域が、「ものづくり」に関して連携し、21 世紀に必要な独自性あふれる「ひとづくり」を行い「共」に「育」つこと、これが本取組の目的である。</p> <p>取組の背景には、日本の産業の空洞化と学生の「ものづくり」に関する実体験不足への対応の必要性があった。そこで、「社会基盤を支える人材養成」を目指し「実学教育」に取組んできた産業大学の教育理念と本学が立地する大阪東部（中小製造業の一大集積地）の特性を掛け合わせ、地域ネットワークの強みを生かし独自性に富んだ創造を行い得る「アントレプレナー型エンジニア」の育成が開始された。</p> <p>この取組を支えるため、入試段階から卒業まで「ものづくり」を基盤とする一貫した教育システムを構築している。なかでも、学長主宰の「ものづくりコンテスト」の実施、「クリエイトセンター」等施設の整備、教育の場としての「大学発ベンチャー」の起業、アントレプレナー専攻の導入、東大阪商工会議所による審査・品評、国内外ラリー参加等実践的外部評価の活用、などに大きな特色があり、大学発ベンチャーにおける学生社長の誕生やソーラーカーの世界的な活躍などの成果に結実している。</p>			
<p>(採択理由)</p> <p>この取組は、大阪産業大学の教育目標である「地域に根ざし社会に貢献する人材育成を目指し、『実学』に根ざした基礎教育から高度教育までを統合的に実践する大学」を達成するために、組織的に実施され、「ものづくり・アイデアコンテスト」や「MONO工房」などに実証されるように大きな成果を上げています。現在、大学には、社会・経済構造、産業構造の急速な変化に対応できる特色ある教育が求められており、この取組の「東大阪中小企業ものづくりネットワークと連携したアントレプレナー型エンジニア育成」という点はこうした社会の多様な要請に充分応える優れた取組であると認められます。特に、当大学の「大学発ベンチャー」の日本での第一号が誕生したことについては先進性も見られ、今後、大学と地域で築く 21 世紀型ひとづくりが求められつつある</p>			

ことを鑑みれば、この取組は他の大学、短期大学の参考になり得る優れた事例であると言えます。

また、この取組には、学部組織が企業側とどのように協力、提携した教育プログラムが用意できるかという課題も認められますが、これを克服すれば更なる発展が期待されます。